

受講感想

電磁波の電場と磁場のこと、コンセントの仕組み、発電所からの送電や電線の仕組み、アースの仕組みなどを理解することができ、とても勉強になりました。実際に計測することで数値として電場・磁場の実態を知ることができ、対策方法も確立しており、測定士の活動の位置付けを理解することもできました。ここまでの整備(電磁波の定義、電磁波の問題点の指摘、電磁波の問題点に対する対処方法の考え方の提示、解決策として①独自の基準を設定、②対策グッズの開発・商品化・販売)をされてこられたことに大いなる敬意を表します。

ところで、僭越ながら、気づきなのですが、「電磁波測定士講座」を謳っていることについて、セミナー内容の時間配分が少しアンバランスではないかと感じました。測定の実践について時間が少なすぎることにより、即実践できる「測定士」の輩出が難しいのではないかと思います。テキストの内容も、いろいろな要素を盛り込んでいるのはとてもいいし勉強になると思いますが、いったん、①創業者の熱い想い、②協会のこれまでの試行錯誤の歴史、③精神論的な視点(もちろん大切なことですが)、については、テキスト本文にはせずにコラム扱いとするか、別冊とされたほうが、勉強する側としては初めての内容なので論点が理解しやすくなるのではないかと思います。座学の部分については例えば事前に動画の教材を見るなどして時間の圧縮を図り、リアルセミナーでは実践にもう少し時間を割く、などはいかがでしょうか。もう少し要点部分の理解が深まるような構成としていただけないかとも感じました。論点の理解のために、多用していただいている写真も大変に理解の助けとなっていますが、図解もしていただけると、さらに理解が深まるのではないかと感じた次第です。テキストの文字についても、印刷で文字が潰れていたり細かすぎて読めなかったりとしており、そこが残念で、せっかくの集大成のテキストなので、改善をしていただければ助かります。

もし、簡単には、上記の改善が難しいとのことであれば、逆に、要点のみを図解した資料の作成をしていただけるといいのではないかと思います。

そして、大変に難しいことかもしれませんが、5Gに代表される高周波の影響と対応策についても取り組んでいただけると、とても助かります。どうぞ、今後とも引き続き、よろしくお願いいたします。